

平成 25 年 7 月 17 日
 沖縄県がん診療連携協議会
 普及啓発部会

平成 25 年度 養護教諭 5 年経験者研修

概要

開催日時 : 平成 25 年 7 月 4 日 (木) 9:30 ~ 11:30

テーマ : 「がんの総論について」
 「小児がんについて」

講師 : 増田 昌人
 (琉球大学医学部附属病院がんセンター長・診療教授)
 百名 伸之 先生
 (琉球大学医学部附属病院骨髄移植センター長)

主催 : 県立総合教育センター
 共催 : 沖縄県がん診療連携協議会 普及啓発部会
 琉球大学医学部附属病院がんセンター

場所 : 県立総合教育センター (沖縄市)

参加者数 : 18 人

研修参加者

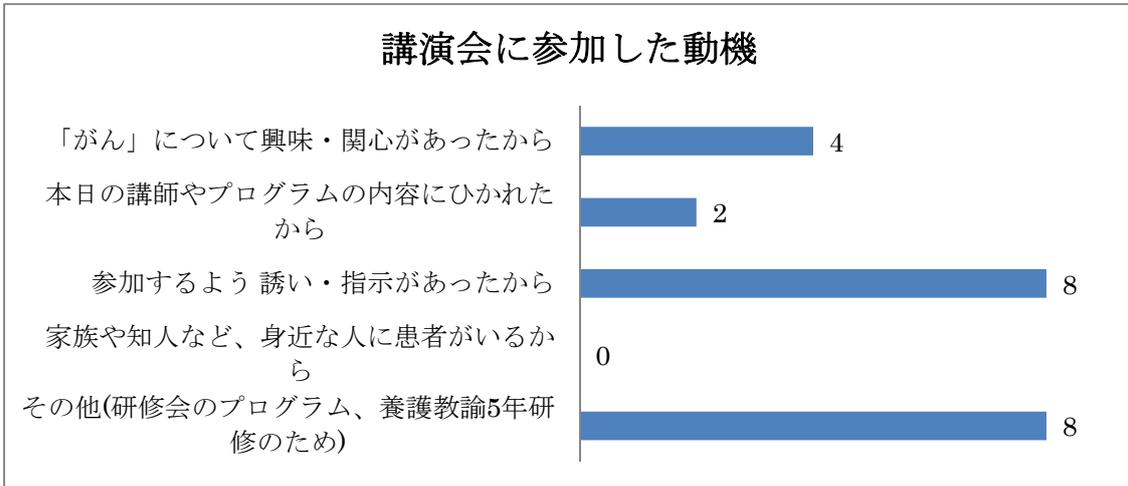
がん診療機能別	人数
小学校 養護教諭	10 人
中学校 養護教諭	3 人
高等学校 養護教諭	3 人
特別支援学校 養護教諭	2 人
合計	18 人

研修の様子

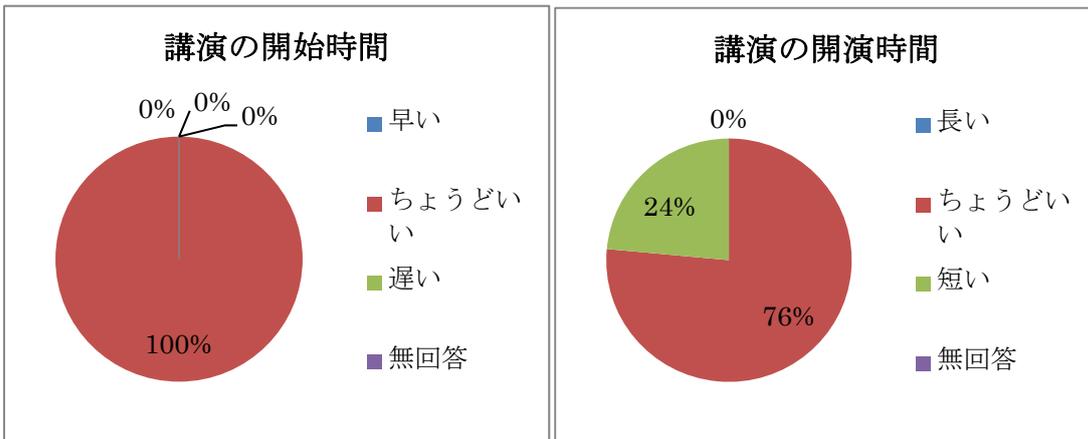


研修会アンケート結果（回答者 17名）

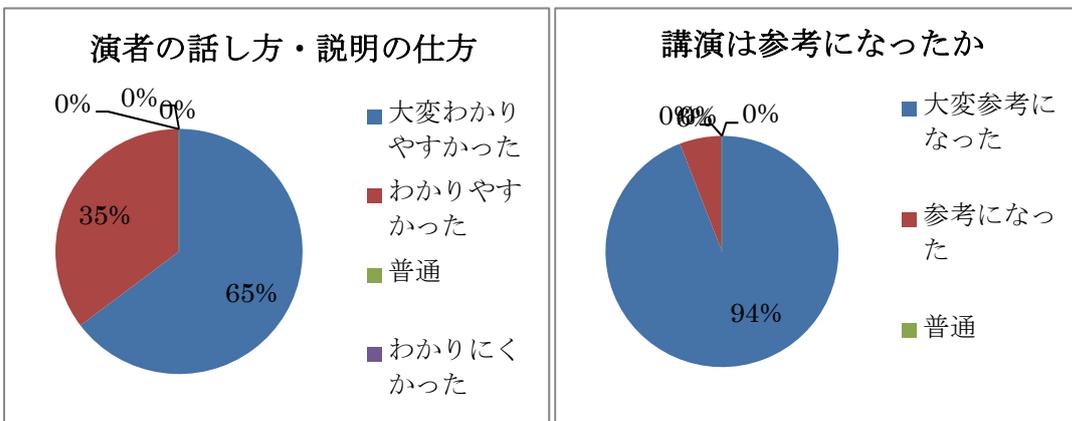
Q 1. 本日の講演会に参加された動機について教えてください。（複数回答可）



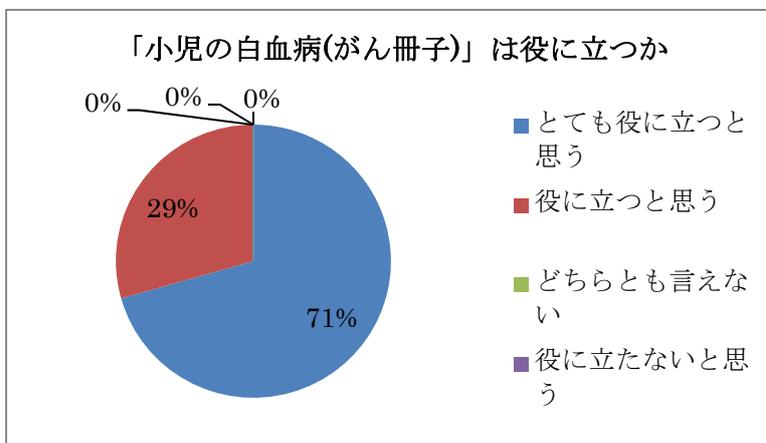
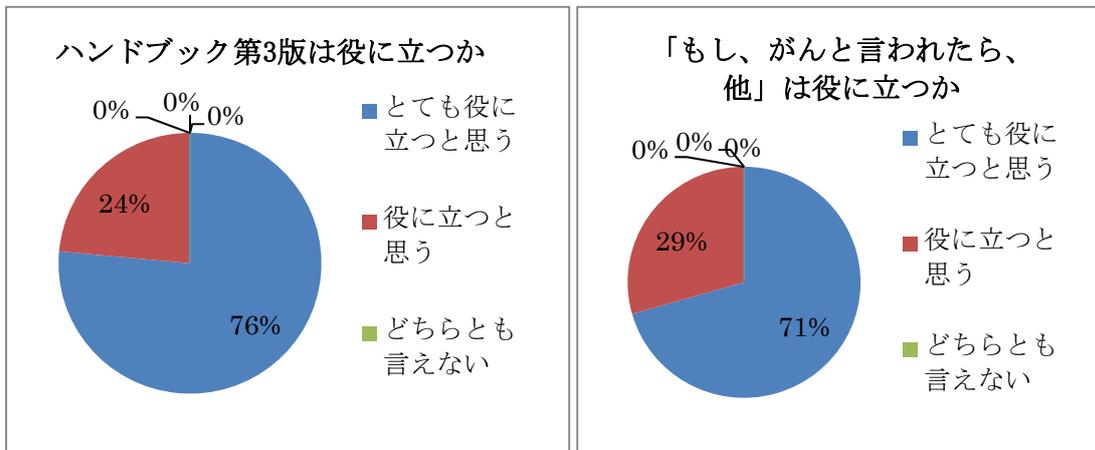
Q 2. 講演時間は、いかがでしたか。



Q 3. 演者の話し方・説明の仕方はいかがでしたか。 Q 4. 本日の講演会は参考になりましたか？



Q 5. 本日本配りした資料は、あなたの役に立つと思いますか？



Q 6 本日の講演会に関するご意見ご感想をお聞かせください

- ・とてもわかりやすく、職場でもプライベートでも役に立つ講演会でした。ありがとうございました。
- ・疑問があったとき、お電話させていただきます。死学を学ぶことは、命を学ぶことに繋がるだろうと感じました。
- ・今まで、がん患者が周りにいた事がなく、がんについての知識がほとんどなかったので、今日の講演会を聞いて、とても勉強になりました。とてもわかりやすく、今後そういう場に出会ったときに、役立ちそうな内容でとても良かったです。
- ・主治医に直接連絡をとることで、児童が安心して楽しく学校生活を送れるんだと思った。以前(8年くらい前)の学校で、小児がんで退院して学校に登校する前のカンファレンスがなかった。・・・なくても、もっと情報をとるべきだったと思います。今は、実施しているとのことで、学校側でもみんなで共通理解して、児童を支援できるので安心した。
- ・とても丁寧にわかりやすくお話しして頂いたので、親近感がわき良かった。困った時、相談したいと思いました。
- ・自分の学校の子が、職員・家族・自分ががんになった時の対応について考えたこともなかったし、そういった場面にでくわす事もなかったので、今回の講話を聞いて、心

構えを持つ事ができました。ありがとうございました。

- ・「DNT」や「連携拠点病院」等いろいろな情報をいただけてとてもよかったです。
- ・現場の医師からの情報はとてもためになりました。
- ・家族にがん患者がいるときの対応方法、そして小児がんについて詳しい講演が聞けてとてもよかったです。小児がんは予防のしようがない。見つかったら治療し、その後学校に復帰するときは、カンファレンスで具体的な対応を聞き、医師からの指示をもらうことが大事だと思いました。
- ・がんについての基礎予習や小児がんについて詳しく知る事ができて良かった。また、がんにかかっている生徒や家族に対しての情報提供・サポートがとても大事だということがわかりました。
- ・分かりやすい講義に加え、たくさんの資料ありがとうございました。実際に経験したことのある内容なので、とても参考になりました。子ども達の為にできる事、考えていきたいです。
- ・現在の治療方法・過程と、退院時の留意点および学校環境として望ましい形を提案していただけたら、もっと助かります……。どうもありがとうございました。
- ・これまで、小児がんにかかった児童の家族だけでなく、そこに関わる教員ももっと早く気がついてあげればと思い悩んでいることがありました。また、セカンドオピニオンを勧めてもなかなか言い出す勇気がなく苦悩する家族などもありました。今日の講義やいただいた資料を参考に、子ども達がよりベターな治療・教育を受けられるように支援できる養護教諭でありたいと思いました。ありがとうございました。
- ・子どもの為に、いつでも電話でも相談を受け付けますというコメントには、大変勇気付けられました。
- ・がんの治療や支援体制、相談機関など、最新の情報を知る事ができて良かったです。より身近な病気で、学校としても教育や情報提供の役割が大いにあると感じました。
- ・とても素晴らしい講演でした。内容もわかりやすく、今後の業務に活かせるとてもよいお話しでした。実際に、小児がんやがん患者の家族(児童)と接したことはありませんが、今後そういった機会があった場合、今日の講演内容を参考にしていきたいと思えます。

Q7 今後、講演会で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください。

- ・小児の腎臓病・実生活への影響
- ・小児の心臓病、心電図の見方
- ・学校で気をつける観察ポイントや、病院へのつなげ方（勧め方）
- ・治療の流れや退院後の学校生活の注意点など
- ・がん患者や家族が病状や治療の段階における心理や、必要な具体的なサポート等、知識として知っておきたいと思いました
- ・他の医師、特に児童生徒がよくわかる眼科や耳鼻科の医師の話を知りたいです。

所感

実際に、小児がんの児童・生徒さんと接したご経験のある養護教諭の先生方もおられて、

実体験にもとづいた質問が多く、以下のように、参加者からの質問があった。

- ・ 医師のお立場から、保護者にお子さんへの病気への告知を強く勧めたり、何回も勧めたりされていますか？
- ・ 最初の病院に、セカンドオピニオンについてどこまで相談してもいいのですか？
- ・ 親御さんががんの子が保健室に相談に来たので、「がんサポートハンドブック」を渡して、病院の MSW さんに相談するように伝えたがこれで良かったですか？

養護教諭の先生方から現場の声を聞き、がん診療に関して、今後は、医師と各学校との連携、医師と養護教諭の先生方との連携を構築していく必要がある。